

令和6年度（2024年度）

<p>試験区分</p>	<p>学校推薦型選抜・特別選抜</p>
<p>学部学科</p>	<p>国際政策学部 共通</p>
<p>教科科目等</p>	<p>小論文</p>
<p>出題の意図</p>	<p>日本でも頻繁に話題にあがる外国人技能実習生をはじめとする経験不要な分野などでの外国人労働者の問題について、基本的な知識や関心を持ち、その構造と問題点をグローバル及びローカルな視点、さらには経済的・社会的な視点などを含めて、論理的に説明でき、さらにそれらを解決するための能力を有しているかを問う設問である。</p> <p>例えば、競争の激しいグローバル化社会の進展によって、日本の企業はできるだけ人件費を抑えようとしており、特に地方の製造業などの分野では、我が国の少子高齢化という人口構造もあいまって、若い人材が集まりにくく、人材不足を人件費の安い外国人労働者で補おうとしている。他方、発展途上国側の労働者は、日本のような先進国で働き、より高い技術とより多くの賃金を得たいと考えている、といったようなグローバルかつローカルな経済的・社会的な構造を理解しているかどうか確認する。</p> <p>さらに、そのような構造がどのような外国人労働者問題を惹起しているのか、その問題を解決するためにはどうしたらよいのかということ述べさせることによって、思考の論理性と発想の独自性を問いたい。</p> <p>なお、解答には何らかの正解を求めているわけではなく、意見の違い自体が評価に影響することは想定しない。</p>